黒潮町における脱炭素の取組について

高知県黒潮町
町長　大西　勝也

黒潮町について

黒潮町ってこんなところ…

太平洋に面した黒潮町は、黒潮がもたらす豊かな自然が広がっています。
クジラやイルカ、アカウミガメなどの生き物が近くに暮らし、
カツオの１本釣り漁業が盛んに行われ、完全天日塩など、
海から恵みを多大に受け、文化が育まれてきました。

またホエールウォッチングやサーフィン・
シーカヤック・ビーチコーミング・釣りなど
自然体験のスポットとしても人気の町でもあります。

人口 9,747人

世帯数　5,242世帯

高齢化率　47.1%

※R7.8月末時点

海が自慢のまちです！

黒潮町について

カツオの一本釣り

いごっそうアクアスロン

美しい豊かな海の恵みを受けています

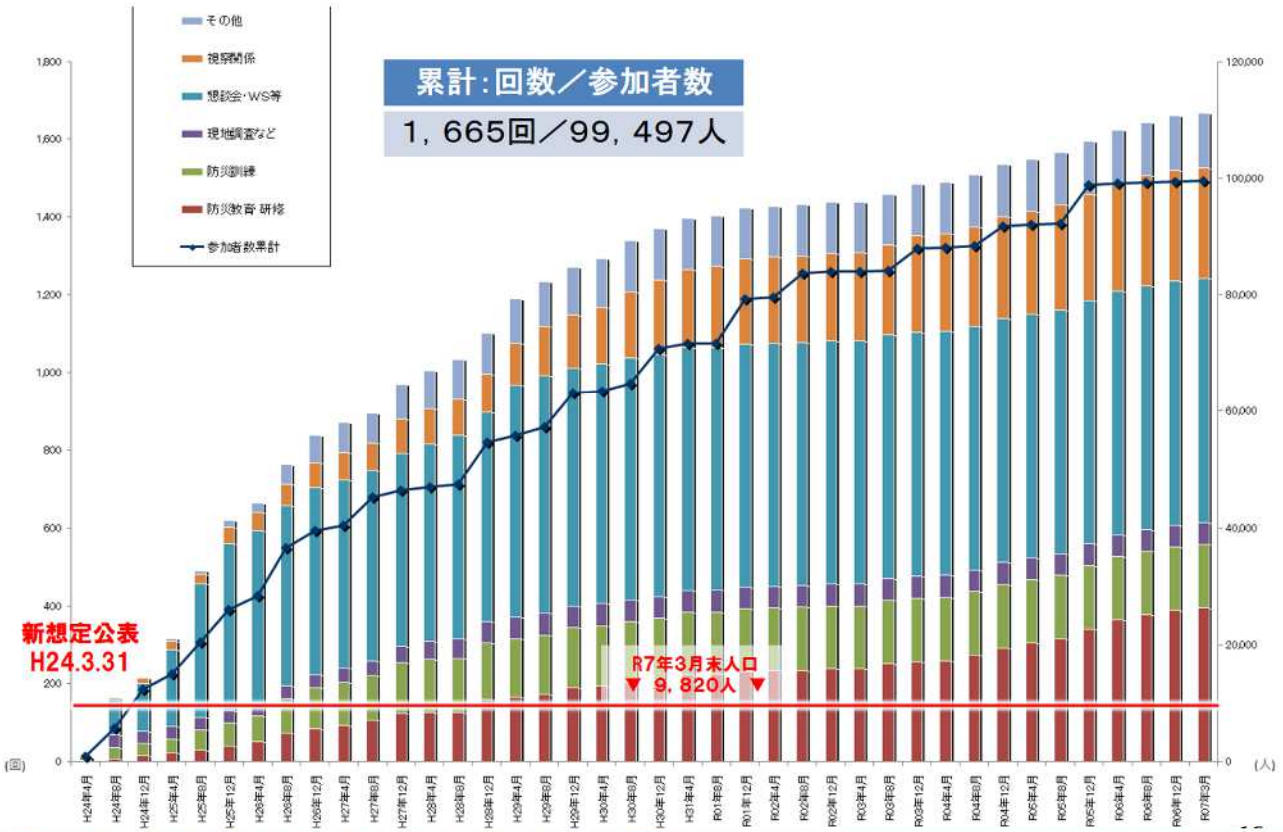
Ｔシャツアート展

シーサイドはだしマラソン

黒潮町について

南海トラフ地震の想定で
日本一の津波高として
国が公表
↓
防災まちづくり

防災活動参加人数と内容別の実施回数（累計）



脱炭素先行地域事業について

再生可能エネルギーを活用したゼロカーボン防災型まちづくり
～カルテを使った住民と創る町全域の脱炭素計画～

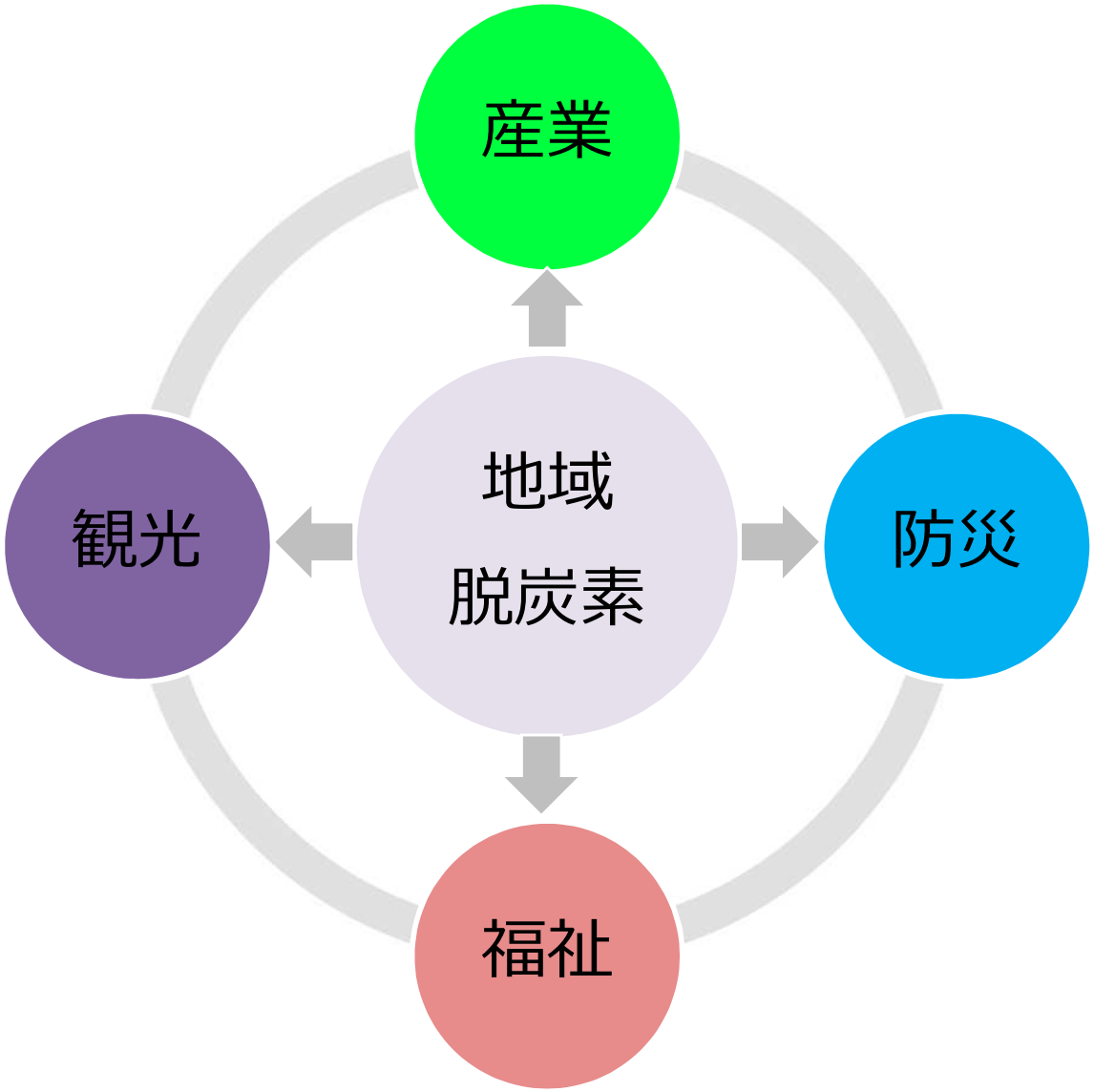
日本一の最大津波高が想定される黒潮町において、浸水想定区域の全世帯を対象とした、「戸別津波避難カルテ」を作成したノウハウを活かし、「**脱炭素カルテ**」を全ての世帯で作成し、ご家庭に合った省エネ・再エネ設備の導入を促進するとともに、**避難行動要支援者が**避難後に「**即時的**」「**継続的**」にエネルギー利用が可能となる体制を構築するために、一般避難所・福祉避難所に「太陽光発電設備」「蓄電池」を導入するとともに、**町全域を脱炭素。**

脱炭素カルテとは

戸別津波避難カルテを参考に、訪問を繰り返し実施して住民とコミュニケーションを図り、以下を推進する総合的なソフト事業です。

- エネルギー利用の見える化
- 現状把握
- 家庭に合った対策の提案
- 補助制度や支援の提供
- 対策実施後のフォローアップetc..

黒潮町における脱炭素の考え方



各種施策を進めるうえで・・・

「脱炭素」の視点

・再エネポテンシャル最大限活用し、エネルギーの地産地消
・エネルギーセキュリティーの向上
・避難施設の環境整備
・ゼロエミッション美術館（砂浜美術館）
etc･･･

地域脱炭素化を進める事で、
「**地域課題**」を解決

地域に裨益する取り組みを進めます。